



別府ゆうきくん

枕崎市立別府中学校
平成30年1月16日

～天は自ら助くる者を助く～

校長 立山佳人

新年明けましておめでとうございます。

先週は降雪と冷えこみで大変な週になりましたが、生徒達は白い息を吐きながら、元気よく登校してきます。

そんな中、今年度も例年通り、私立高校の入学試験がスタートします。そして、公立高校推薦入試、最後の公立高校一般入試と続いていきます。中学校では3年部の先生方を中心に、願書の提出や生徒達の面接練習と、全校で取り組む雰囲気になっていきます。そして、三年生の生徒達も、自らの志望校達成という目標に向けて、緊張感が高まってきているようです。

百歳まで生き、ローマ法王などを招き世界平和のための世界宗教サミットを開催した比叡山延暦寺の、故、山田恵諦(やまだえたい)天台座主は、何か夢や目標を叶えようと思ったら、次の三つが必要であると言われました。

「一つは夢に向けての本人の精一杯の努力。二つ目は周囲の協力。そして三つ目に神仏のご加護(助け)。そして何より大切なのは、やはり本人の努力。これがあれば周囲の協力や、神仏の助けは自ずから生まれてくる。努力なしで神頼みしても、誰も助けてはくれません。」

とても含蓄のある言葉だと思います。「天は自ら助くる者を助く」とも言います。三年生の皆さんは、今が一番苦しいと思いますが、健康に気をつけて、自分の夢(目標)実現に誠実に、悔いのない努力をして下さい。みんな応援しています。そして1、2年生の皆さんは、次は自分たちだと思い、今からしっかりと目標を立て頑張っておいてください。



受験の向こうに何があるの？

3年生がいよいよという時期になりました。後輩達は自分だったらと想像力を働かす時期です。

受験をするとどうなるのか？という話は大切なのに、なかなかしてくれる人はいません。それは哲学といってもいいくらい、本来教わるものではなく、自分で編み出さねばならない感覚だからでしょう。しかし、本質がわからないままでは、頑張るためのエネルギー(モチベーション)はいっとうに高まらないのも事実です。

間違いなく中3での受験は、皆さんの人生の一つの大きな転機になります。「自分のレベルを高いところに持っていきたい」という経験をし、そういう人が大変なことを乗り越えると、人間としての迫力が実際かなり違ってきます。

いつもの世も、上に行けば行くほど切磋琢磨の状態は強くなります。「今の自分の居場所が嫌だったら、もう一段上のレベルに行けばいい、自分の上ってどっちなの？」ということです。それは職業に就いてからも、一生自分につきまといます。

しかし、試験は「頭がいいかどうか」を問われるのではありません。「あなたはこの学校にホントに入りたいんですか？じゃあ、どれくらい準備をしましたか？その意志を確認します」ということなんですね。要は準備の達成率とめ切までに間に合わせたかどうかだと思ってください。

自分を客観視することって、大人にとっても厳しい修行です。逃げる、ごまかす方が簡単ですから。だからこそ勉強は、心のバランスが取れた人の方が伸びていけるのです。志望動機、家庭の中で許される現況、自分の考え方、残り時間、そういうものをどれだけ素直に認め、作戦を持ち続けるか、そこが問われています。

いないとは思いますが、今、家庭で大事にされすぎてる人、周りが自分を応援するのは当然と傲慢さがある人は、要注意です。

なぜ、受験があるのか？それは「自分の力で進まなければならぬことの現実と意味」を知るためにあるのかもしれない。

別府中学校PTA活動、いつもありがとございます

最近の3つの活動を紹介します！



授業参観 学級PTA
門松づくり
あいさつ運動 安全パトロール

たくさんの受賞おめでとう！

- ◆ 神谷琳瑚さん
(県作文コンクール地区審査)：特選
(県児童生徒作文コンクール)：入選
- ◆ 松久保乃瑚さん
(緑茶凶画コンクール)：金賞
- ◆ 江口竜矢さん
(JSCA新年フェスティバル水泳競技大会)：4位

凡事徹底「効果的な宿題のために」

県は「家庭学習60・90運動」、市は「家庭学習40・60・90・120運動」を推進しています。また市教委から学校職員向けに「効果的な宿題のために」というリーフレットも発行されているところです。(裏面に一部資料掲載)子どもたちにとって、学校と家庭の連携が一番大切です。年の始めに、基本を再確認し、新学年用に再設定してみてください。

① 学習環境の整備

・ 時間帯を決める、場を整理整頓、ノーマディアで集中できる環境づくり

② 学習の見届け

・ 今日の課題を確認、見届けの徹底

③ 賞賛・激励

・ 認め、褒める。考えや疑問に真剣に向き合う。



1月下旬～2月中旬月の行事予定

- 1/17(水)～18(木) 鹿児島学習定着度調査(1・2年)
- 1/19(金) 市民あいさつ運動
- 1/20(土) 椋鳩十文学記念館賞贈呈式
- 1/21(日) 小・中合同空き瓶回収・学林地下払い作業
- 1/28(日) 第41回枕崎新春かつおジョギング大会
- 1/30(火) 枕崎高校総合学科活動発表会(1年参加)
- 2/2(金) 別府中学校入学説明会
- 2/3(土) 県PTA活動研究委嘱公開(指宿市民会館)
- 2/5(月) 公立高校推薦入学者選抜
- 2/13(火) 特別支援学級合同学習会
- 2/14(火)～2/16(金) 学年末テスト
- 2/16(金) 市民あいさつ運動・校外生活指導連絡会

いいね! 「西郷どんも飲んじょったど」 いいね!

「お茶の本場別府」躍進に向け、茶苗を11種類!

◆「茶は養生の仙薬なり」その昔、自然の樹葉によるお茶は薬として健康と長寿の源でした。
◆江戸時代には島津藩が茶の栽培を奨励しました。さらに西郷どんが活躍した日本開国をきっかけとし、輸出用栽培も盛んになり、南薩地方はその頃開墾されたそうです。現在は生産量国内第2位、栽培機械普及率は全国1位! 「走り新茶」の街が、私たちの誇るべき故郷です。

◆南薩は日照量が多いため品種改良も盛んです。枕崎茶葉の品質は、渋みが少なく旨みがあることでも評価が高いお茶です。さらに、かつお節が豊富となれば「茶節」が美味しいのは当然ですね!

◆そんなお茶処の別府地区ですが、意外と茶葉の種類は知らないもの。そこで、鹿児島県茶生産協会理事の茅野勲さんが11種類の茶葉を学校に植え付けてくださいました。ありがとうございます。11種観察は貴重です。明日の枕崎のため、茶葉研究者を目指そう!

